

# 竪穴住居の廃絶と廃屋墓

中村耕作

knakamura@kokugakuintochigi.ac.jp

要旨：「竪穴住居跡」の床下・床面・覆土から人骨や、赤色顔料・特殊な器物の配置・火入れ行為などの儀礼的な行為の痕跡が検出されることはしばしば指摘され、「廃屋儀礼」や「廃屋墓・家屋墓」などと概念化されてきた。しかし、本格的検討は事例の集中する一部の類型のみであり、多様なあり方については不明瞭なままである。本発表では縄文時代における各地・各時期の人骨出土例および葬送儀礼の可能性の高い事例を提示し、その普遍性を推測するとともに、事例が集中する類型における特徴を紹介する。また、弥生時代以降についても、しばしば関連する事象が指摘されており、いくつかの例を示した。これらの事例は、土坑墓を中心に議論されてきた葬墓制論や社会論の見直しの可能性を提起する。家屋墓・廃屋墓など概念も未整理であり、今後、体系的な論及が必要であろう。

## 中部高地周辺の床面への浅鉢供献

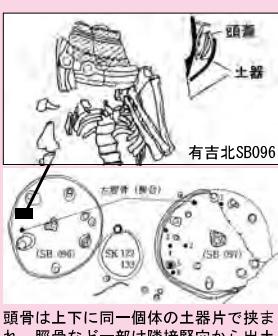
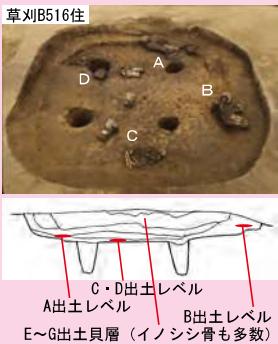
岐阜県高山市糠塚遺跡では床面中央が焼け、炉を挟んで2つの対称的な浅鉢が出土した。群馬県みなみかみ町小仁田遺跡や長野県小海町中原遺跡でも同様の対比関係がみられる。



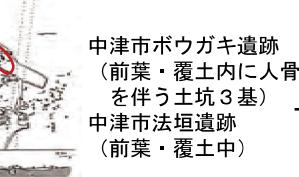
大: 小 赤: 黒 有文: 無文  
正位: 逆位という4重の対称関係

## 東京湾岸の廃屋墓群（83軒171体）

床面・床面～覆土、覆土という人骨検出位置の違いから廃屋墓概念をめぐる議論が続いてきた。市原市草刈貝塚B516住は時間を追って複数遺体が配置されたことを示す好例であり、位置の違いはあっても複数葬はいずれも先行する遺体を意識した「追葬」と捉えられる。なお、B516住A人骨は右足が離断されているが（石川2014）、他にも白骨化以前・後に一部が移動している例、床面や覆土から部分骨のみが検出される例などがあり、何らかの「改葬」がしばしば行われたことを示している。廃屋墓には男女・子どもの偏りは見られないが特殊な装身具を伴う者もいて当時のリーダー像をうかがう上でも重要である。

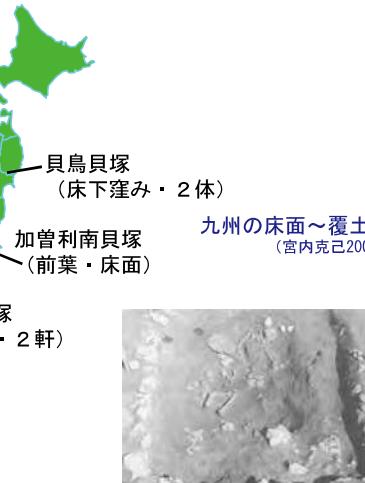


頭蓋 土器  
有吉北SB096



中津市ボウガキ遺跡  
(前葉・覆土内に人骨を伴う土坑3基)

中津市法垣遺跡  
(前葉・覆土中)

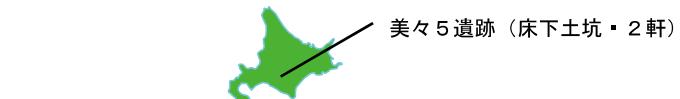


貝鳥貝塚  
(床下窪み・2軒)

加曾利南貝塚  
(前葉・床面)

覗塚貝塚  
(床面・2軒)

## 縄文時代早・前期

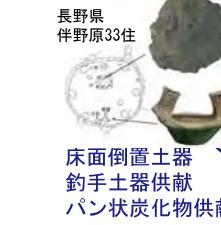


美々5遺跡（床下土坑・2軒）

さいたま市黒谷貝塚（床下土坑）  
富士見市水子貝塚（覆土）  
富士見市打越貝塚（覆土）

松戸市向の台遺跡（早期茅山式期・覆土）  
松戸市幸田貝塚（床面・火を受ける・一部欠）  
市川市旧練兵場貝塚（覆土）

## 縄文時代中期



竪穴内土坑（墓）  
(鈴木克彦2009)

## 縄文時代後期

前面に墓を持つ核家屋  
(石井寛1994・阿部友寿2016)



長野県岩下遺跡

床下土坑  
(石井寛2011)

東京湾岸の廃屋墓群  
(28軒51体)

安曇野市北村遺跡（前葉・敷石床面）  
墓坑と竪穴の繰り返し（小杉康1995）

原村上横道遺跡（前葉・敷石床面）

中期末～後期初頭の廃屋墓

東京湾岸では千葉市大膳野南遺跡の集骨葬1例のみだが、長野県千曲市屋代遺跡群（3軒・部分骨）、愛知県南知多町林ノ峰貝塚（火を受ける）など、広範に見られるほか、千葉県市川市権現原遺跡では2軒の床下土坑からの人骨出土例があり、多様かつ手が込んだ廃屋墓がみられる。この時期には床面に大形石棒を配置する例も多く、住居廃絶時の儀礼行為の再編が指摘される。

## 道南～北東北の床面土器供献 道南の漆塗櫛・ベンガラ供献

床面出土土器の少ない縄文時代にあって床面土器供献事例が密集する。国宝合掌土偶出土住居もその1つである。八雲町野田生1遺跡では赤黒の対称的な土器配置がみられる。道南部ではさらに漆塗櫛やベンガラを床面に配置し、埋め戻す例があり、葬送儀礼の所産である可能性が高い。



野田生1 AH10



野田生1 AH6

## 縄文時代晩期

注口土器床面供献  
異形台付土器床面供献



千葉市加曾利貝塚



常呂町ライトコロ河口遺跡  
擦文時代の「家屋墓」  
(石附喜三男1973・瀬川拓郎2007ほか)

## 弥生時代～古代

十王台式期の床面玉類・  
鉄剣類出土例  
(鈴木素行2008)

深谷市城北遺跡（6世紀・床面人骨・4軒9体）

長野市榎田遺跡（7世紀・床面人骨・2軒）

（山川守男1996）

うるま市仲原遺跡（貝塚時代後期・覆土）



城北遺跡